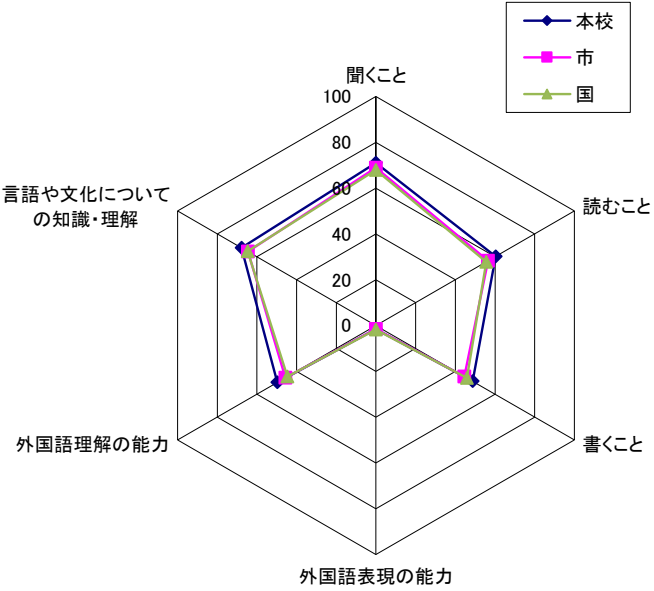


宇都宮市立星が丘中学校第3学年【英語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【英語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	聞くこと	71.0	68.9	67.9
	話すこと			
	読むこと	60.3	56.5	55.6
	書くこと	48.7	44.6	45.8
観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度			
	外国語表現の能力	1.5	1.5	1.8
	外国語理解の能力	49.7	45.6	44.7
	言語や文化についての知識・理解	67.8	64.5	64.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	○正答率は国を3.1%、市を2.1%上回り、説明文、対話文から情報を正確に聞き取る力を身につけている生徒が多い。 ●時を表す前置詞を含む英文の聞き取りが、国、市を上回っているものの、64.9%と他に比べると低い正答率となっている。	・授業でのオーラルイントロダクションを効果的に行いながら、情報を正確に聞きとる力を今後も伸ばしていく。 ・前置詞の聞き取りを苦手とする生徒が多いので、語の用法を理解させると共に、ALTを授業の中で効果的に活用し、ネイティブの発音に慣れさせる。
話すこと		
読むこと	○正答率は国を4.7%、市を3.8%上回っており、英文の内容から適切な語や絵を選択する問題では、約80%の高い正答率となっている。 ●やや長い英文の読み取り問題では、正答率が低くなっている。読み取った内容から英文を書く問題では、国、市を上回っているものの、15.1%と低い正答率となっている。	・教科書以外の教材を活用しながら、まとまりのある英文の要点をつかませる力を継続的に育てていく。 ・長文に対する苦手意識の強い生徒が多い現状がある。段階的に英文の量を増やししながら、英文の読解に慣れさせていく。 ・「読む力」と「書く力」を統合させた指導を工夫し、総合的な英語力を高めさせる。
書くこと	○正答率は国を2.9%、市を4.1%上回っている。適語選択や語形変化の問題では75%以上の正答率となっている。 ●他の領域と比較すると、正答率が48.7%と低くなっている。特に、自分の考えを伝える問題では1.5%と非常に低い正答率となっている。	・単文からまとまりのある英文へと段階的な指導を行い、書くことにおける表現力を高めていく。 ・書くことに対する苦手意識を持つ生徒に対しては、TTの指導を工夫しながら書く力の定着を図る。 ・自分の考えを持たせ、それについて英語で書かせる活動を更に増やし、表現力を高めさせる。 ・基本的な構文を理解させ運用させる指導を継続していく。